

衆議院予算委員会ニュース

平成 24.2.22 第 180 回国会第 14 号

2月22日(水)、第14回の委員会が開かれました。

- 1 平成 24 年度一般会計予算
平成 24 年度特別会計予算
平成 24 年度政府関係機関予算
- ・社会保障（年金を含む）と税について、野田内閣総理大臣、岡田国務大臣（社会保障・税一体改革担当）、安住財務大臣、小宮山厚生労働大臣、前田国土交通大臣、古川国務大臣（国家戦略担当）、中川国務大臣（少子化対策担当）及び参考人に集中審議を行いました。
- （参考人）日本銀行総裁 白川方明君
- ・参考人から意見を聴取することに、協議決定しました。

（質疑者及び主な質疑内容）

長妻 昭君（民主）

- ・社会保障・税一体改革における格差是正のための方策について岡田社会保障・税一体改革担当大臣の所見を伺いたい。
- ・在宅福祉の強化など中学校区を単位とした、地域福祉の推進についての小宮山厚生労働大臣及び岡田社会保障・税一体改革担当大臣の所見を伺いたい。
- ・現行の年金制度の問題点について岡田社会保障・税一体改革担当大臣の認識を伺いたい。

小川 淳也君（民主）

- ・社会保障と税制改革を一体で議論することの意義について、岡田社会保障・税一体改革担当大臣に伺いたい。
- ・先般の金融緩和及び「中長期的な物価安定の目途」の導入について、その意義や今後の見通しを白川日本銀行総裁に伺いたい。
- ・現在の急激な人口減少社会において社会保障・税一体改革が必要と考えるが、野田内閣総理大臣の所見を伺いたい。

下地 幹郎君（国民）

- ・消費税率上げ法案を閣議決定し、与野党協議ではなく国会で議論すべきと考えるが、野田内閣総理大臣の所見を伺いたい。

松 木けんこう君（大地）

- ・行政改革が不十分なまま、消費税率を引き上げるべきでないと考えるが、野田内閣総理大臣の所見を伺いたい。

鴨 下 一郎君（自民）

- ・社会保障・税一体改革とは、社会保障の機能強化のために消費税の増税分を充当するということなのか。
- ・パートタイム労働者等の年金加入促進に向けて政府はどのような取組を行っているのか。
- ・社会保障・税一体改革は、我が国の年金制度の課題である少子高齢化に対しどれだけの効果をあげるのか。
- ・閣議決定された社会保障・税一体改革大綱における衆議院議員定数 80 の削減に関する記述は、内閣の越権行為であり削除すべきではないか。

田 村 憲 久君（自民）

- ・社会保障・税一体改革大綱においては消費税の引上げについて停止条項が含まれているが、デフレ下にある現在のような経済状況にある場合、消費税の引上げについてどのような判断をすることになるのか伺いたい。
- ・将来の介護保険料の推計をいつ提出するのか伺いたい。また介護保険の制度設計についても改革するものでなければ社会保障と税の一体改革とは言えないのではないか。
- ・新年金制度の財政試算に記載されている、新制度に移行後の最低保障年金が満額支給される場合の年金月額 5.8 万円とはどういうことなのか伺いたい。

野田 聖子君（自民）

- ・天下国家について考えるとは100年の計を示すことだと認識しているが、野田内閣総理大臣はどのような認識でいるのか伺いたい。
- ・少子化に対応するには、人口減少社会なりの社会保障制度の構築、または少子化の進行を阻止することの2つの道があると思うが、野田内閣総理大臣の所見を伺いたい。
- ・少子化対策担当大臣は無任所で、個別の予算の配分がない中で少子化対策という重責を負っている。民主党政権はマニフェストに記載したとおり、子ども家庭省を設置すべきではないか。

石井 啓一君（公明）

- ・消費税の引上げを行うに当たり、身を切る改革として、国会議員の定数削減を議論するのではなく、国家公務員の給与削減とともに、まずは歳費削減を議論すべきと考えるが、野田内閣総理大臣の所見を伺いたい。
- ・消費税に限定せず、税制全体で社会保障の財源を考え、今回の税制改正による増収分の使途についても社会保障に限定するべきであると思うが、安住財務大臣の所見を伺いたい。
- ・民主党の年金改革により、国民年金加入者の本人負担が、厚生年金及び共済年金加入者の2倍になることについて、国民の理解が得られないと考えるが、古川国家戦略担当大臣の所見を伺いたい。また、実現性の低い同年金改革案について、撤回すべきと考えるが、野田内閣総理大臣に所見を伺いたい。

佐々木 憲昭君（共産）

- ・厚生年金、国民年金の積立金が合わせて120兆円あるが、それを目減りさせないよう管理することについて野田内閣総理大臣の所見を伺いたい。
- ・年金生活者に対する給付が減少する一方で税や保険料負担が増加し、貯蓄を切り崩しながら生活する受給者が現れている中で80歳以上に対する年金給付を減らすのは弱者切り捨てではないかという意見について野田内閣総理大臣の所見を伺いたい。
- ・売上高2億円以上の中小企業のうち、消費税の増税を値段に転嫁できないとした企業が半数近くに上ることについて安住財務大臣及び野田内閣総理大臣の所見を伺いたい。

阿部 知子君（社民）

- ・夫婦と子ども2人のモデル世帯における社会保険料の負担が年45万円になっていることについて、重いと見るか妥当と見るか小宮山厚生労働大臣の所見を伺いたい。
- ・社会保障・税の一体改革の中に、中間所得者層にも重い負担となっている社会保険料の対策は盛り込まれているか。
- ・単身女性の貧困率が高くなっていることについて、パートタイマーの厚生年金加入等の対策をとるべきであると思うが岡田社会保障・税一体改革担当大臣及び野田内閣総理大臣の所見を伺いたい。

浅尾 慶一郎君（みんな）

- ・閣議決定された「社会保障・税一体改革大綱について」では、年金一元化が行われた際の所得比例年金の保険料率を所得の「15%程度」としているが、これは老齢年金に係る部分のみであり、障害年金や遺族年金を考慮すると保険料率はより高くなるはずである。今回、これらを除いた低い保険料率を国民に示した理由について、小宮山厚生労働大臣に伺いたい。
- ・民主党が掲げる最低保障年金制度の実現の前提となる所得の正確な把握のためには、国税庁と日本年金機構を統合した「歳入庁」の創設が必要不可欠になると考えるが、政府の所見を伺いたい。
- ・厚生年金・健康保険の加入要件を週20時間以上労働する非正規雇用者に拡大するという議論の前に、未加入事業者を加入させて社会保険料を納付させることが先決と考えるが、小宮山厚生労働大臣の所見を伺いたい。

豊田 潤多郎君（きづな）

- ・昨年12月、国家公務員給与削減法案の審議・成立のために臨時国会の会期を延長すべきところ、延長せずに閉会した理由について、野田内閣総理大臣に伺いたい。
- ・民主党の国民に対する公約の中で最も基本的かつ重要な柱の一つであり、「コンクリートから人へ」の象徴的事例とされていた八ッ場ダムについて、平成24年度予算において工事再開を認めた理由について、野田内閣総理大臣に伺いたい。
- ・統治機構・組織の見直しを含む徹底した無駄の排除と予算の効率化による歳出の大幅削減を実行することなく、消費税の増税を推進しようとする理由について、野田内閣総理大臣及び岡田行政改革担当大臣に伺いたい。